

※解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

1 次のA～Dの文章を読んで、下の問いに答えなさい。

- A ①幕府はキリスト教を禁止し、信者をとりしまりました。人々が海外に行ったり、帰って来たりすることまで禁止するようになりました。このような中で、九州で信者を中心とする大規模な（ 1 ）という反乱が起こりました。
- B ②朝鮮で農民の反乱が起きると、中国も日本も軍隊を送りました。その後、両軍によって（ 2 ）が始まりました。勝利した日本は、台湾をゆずり受けたり、賠償金を受け取ったりすることになりました。
- C ③聖徳太子は、蘇我氏と協力して天皇中心の国づくりをすすめていきました。役人の位を12段階に分け、家柄ではなく、能力によって位を与えたり、（ 3 ）をつくって役人の心得を示したりしました。
- D 8代将軍足利義政は、京都の東山に④銀閣を建てました。このころ、幕府の力はおとろえていて、義政のあとつぎをめぐって（ 4 ）という戦乱が起きていました。

問1 文中の（ 1 ）～（ 4 ）に入る語句を答えなさい。

問2 A～Dを時代の古い順番に並べかえなさい。

問3 下線部①について、幕府がキリスト教を禁止した理由を説明しなさい。

問4 下線部②について、Bの文章の時代の朝鮮と一番時期に近い時に起こったできごとの説明を次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 朝鮮通信使と呼ばれる使節が、何度か来日した。
- (イ) 韓国と北朝鮮に分かれて対立し、朝鮮戦争がおこった。
- (ウ) 日本は韓国を併合して、植民地とした。
- (エ) 中国や朝鮮半島から日本へたくさんの渡来人がやってきた。

問5 下線部③について、この人物が中国に使節として派遣した人物を次の中から選んで、記号で答えなさい。

- (ア) 小野妹子 (イ) 行基 (ウ) 空海 (エ) 中臣鎌足

問6 下線部④について、これと制作や造営の時期が同じものを次の絵や写真の中から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)



2 次の文章は新聞記事の一部である。これを読んで、下の問いに答えなさい。

ポーランドのクラクフで開かれているユネスコ（国連教育科学文化機関）の世界遺産委員会は9日、（ 1 ）
県の『^{やど}神宿る島』^{むなかつ}宗像・^{おきのしま}沖ノ島と関連遺産群』を世界文化遺産に登録することを決めた。構成8資産のうち、
ユネスコの諮問機関が4資産を「除外」するよう勧告したが、世界遺産委員会は逆転で一括登録を認めた。

①今回の登録で国内の文化遺産は17件、自然遺産と合わせた世界遺産は21件になる。九州からは2015年の「明治日本の産業革命遺産」（九州・（ 2 ）地域など8県）以来となる。

～中略～

周囲約4キロの沖ノ島は4～9世紀、朝鮮半島や中国大陆への航海の安全などを願う国家的祭祀が行われた。
^{どうきょう}銅鏡や^{おうごん}黄金の指輪、^{ばぐ}朝鮮半島の馬具、^{ゆらい}シルクロード由来のガラス製品など8万点にのぼる^{ほうけんひん}奉獻品（国宝）が出
土し、「②海^{しょうそういん}の正倉院^{しょう}」とも称される。

（朝日新聞 2017年7月10日付朝刊・一部改変）

問1 （ 1 ）と（ 2 ）には、それぞれ県名が入る。その組合せとして正しいものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|------------|--------|-------------|--------|
| (ア) (1) 福岡 | (2) 島根 | (イ) (1) 鹿児島 | (2) 山口 |
| (ウ) (1) 福岡 | (2) 山口 | (エ) (1) 鹿児島 | (2) 島根 |

問2 下線部①に関連して、日本の世界遺産に関係する文章として誤っているものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) ^{おうしゅうふじわらし}奥州藤原氏は、都の文化を取り入れて、^{ちゅうそんじんこんじきどう}中尊寺金色堂をつくった。
- (イ) ^{ひめじじょう}姫路城は、^{とくがわいえやす}徳川家康を神としてまつる城として築かれた。
- (ウ) ^{いわみぎんざん}石見銀山から産出された銀は、^{さんしゅつ}戦国大名や江戸幕府の経済力を支えた。
- (エ) ^{しゅり}首里を都とした琉球王国は、独自の文化を築き上げた。

問3 下線部②に関連して、実際の正倉院は奈良県の寺院にあるが、その寺院の名称を答えなさい。

3 次の会話をを読んで、下の問いに答えなさい。

太郎：歴史の授業で、^{じょうもんじだい}縄文時代から日本人は多くの種類の魚や貝を食べていたことが分かりました。①島国なので昔からたくさんの魚が獲れていたんですね。

先生：そうだね。ただ近年の日本の^{ぎょかく}漁獲量は減少傾向にあるんだよ。資料を見てみよう。この資料からは近年の②^{ようしょく}養殖業以外の漁獲量はすべて減っていることがわかるね。

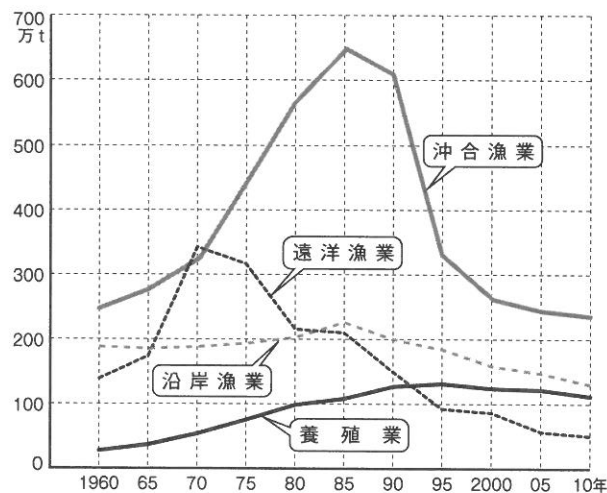
太郎：なぜですか。

先生：理由は様々だけど、1970年代後半には③それぞれの国の海岸線から200海里の中に外国の船が勝手に入って漁をしてはいけないという国際的なルールが定められたんだ。これが遠洋漁業が減ってきた理由の一つとされているんだ。さらに、1990年代からは急激に沖合漁業の漁獲量も減ってきているよね。これは、④海洋環境の変化で魚の従来の生息地が変わってきているということも理由に挙げられるけど、資料のような急激な減少の理由は、水産資源を適切に管理せず、乱獲を行ったせいだとも言われているんだよ。

太郎：海に関する環境問題は、日本だけに限ったことではありませんね。海の資源は人類共通の資産だと思うので、一定の時期を決めて漁をすることや稚魚などは獲ってはいけないなどの条約を結んで、資源を守りながら漁業をしていく必要がありますね。

先生：日本は世界的な漁業国なので、⑤「^{じぞくてき}持続的な漁」にリーダーとして積極的に取り組むべきだと思うよ。

[資料]



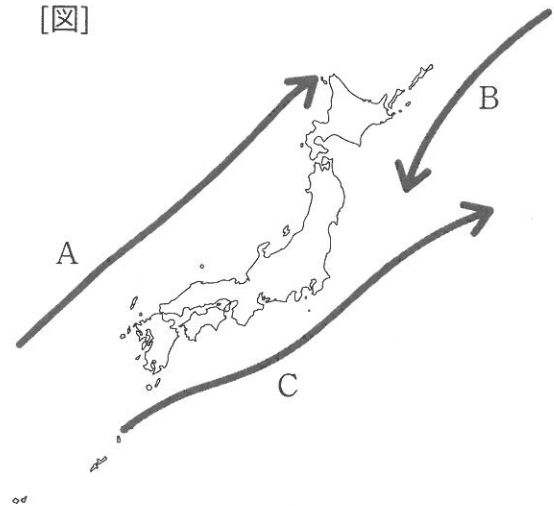
漁業別漁獲量のうつつり変わり (2013年 農林水産省調べより作成)

問1 下線部①に関連して、寒流と暖流がぶつかる潮目など日本には魚が豊富な漁場が多い。

図のA・B・Cにあてはまる海流の組み合わせとして正しいものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) A：日本海流 B：千島海流 C：対馬海流
(イ) A：日本海流 B：対馬海流 C：千島海流
(ウ) A：千島海流 B：日本海流 C：対馬海流
(エ) A：千島海流 B：対馬海流 C：日本海流
(オ) A：対馬海流 B：日本海流 C：千島海流
(カ) A：対馬海流 B：千島海流 C：日本海流

[図]



問2 下線部②について、養殖業について述べた文として正しいものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 国内で消費されるホタテ貝やフグ類などはほとんどが養殖によるものである。
(イ) 天然魚にくらべ天候や水温などのさまざまな自然環境の影響を受けやすく、漁獲量が安定しない。
(ウ) 海中での養殖業では糞や食べ残しの掃除がしにくいいため、養殖漁場が汚染され、近隣の海面に悪影響を及ぼす可能性がある。
(エ) 養殖は一部の魚介類に限られており、天然魚に比べると高品質な魚が生産しにくい。

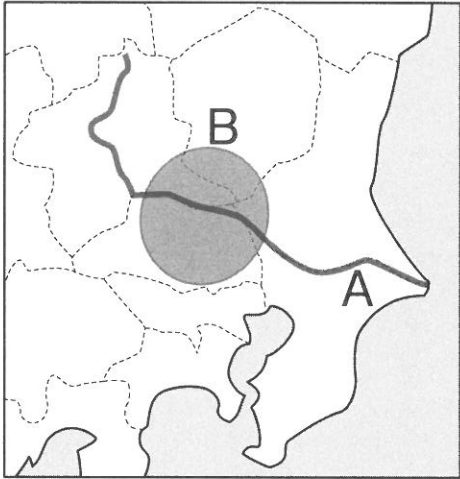
問3 下線部③に関連して、日本の国土のうち最南端の島を何というか答えなさい。

問4 下線部④について、この原因とされる自然環境の変化を何というか答えなさい。

問5 下線部⑤について、「持続的な漁」を実現するために、日本の漁業においてどのようなことに力を入れていく必要があるか、会話文の内容以外で答えなさい。

4 次の資料を見て、下の問いに答えなさい。

[資料1]



[資料2]

平成23年度 季節ごとのキャベツ生産量

順位	春 生産量 (t)		夏・秋 生産量 (t)		冬 生産量 (t)	
	全 国	365,300	全 国	448,300	全 国	561,100
1	千 葉	59,500	(1)	226,800	愛 知	173,300
2	愛 知	56,100	長 野	58,300	千 葉	71,400
3	神奈川	53,400	北海道	43,600	鹿児島	45,700
4	茨 城	42,800	岩 手	27,900	茨 城	37,400
5	兵 庫	14,300	茨 城	16,600	神奈川	26,700

問1 資料1にあるAの河川^{かせん}を何というか答えなさい。

問2 資料1にあるBは工業地域を表している。

- (1) この工業地域は何と呼ばれるか答えなさい。
- (2) Bのように海から離れた場所^{はな}に工業地域が移動している理由として考えられることを答えなさい。解答には次の語句を使用すること。

[道路 ・ 人件費^{じんけんひ}]

問3 関東地方に広がる火山灰が変質してできた赤土のことを何というか答えなさい。

問4 関東地方の気候について述べた文として、誤っているものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 関東地方は、太平洋側の気候である。
- (イ) 関東地方北西の山麓部^{さんろく}は、内陸性の気候である。
- (ウ) 小笠原諸島^{おがさわらしょとう}は、亜熱帯性^{あねったい}の気候になっている。
- (エ) 関東地方北部では、冬の南東の季節風^{えいきょう}の影響で、からっ風がふいている。

問5 資料2からわかることを述べた次の文の空欄^{くうらん}に当てはまる語句を答えなさい。なお、空欄(1)は資料2中の(1)と同じである。

資料はキャベツの出荷量を表している。(1) 県の^{つまごいむら}孺恋村などでは、^{れいりょう}冷涼な気候を利用してキャベツを他の地域よりも遅く出荷している。このような出荷時期^{さいばいほう}を遅らせる栽培法を(2)という。

受 験 番 号

社会解答用紙

(5枚のうちの5枚め)

中B方式
平30

1

問1	1	2	3	4
問2	→ → →			
問3				
問4		問5		問6

1

2

問1		問2		問3	
----	--	----	--	----	--

2

3

問1		問2		問3	
問4					
問5					

3

4

問1				
問2	(1)			
(2)				
問3			問4	
問5	1		2	

4

合	
計	